行事のあらまし

大館市三百年の歴史には二十一回の大火が数え上げられる。殊に昭和二十八年来相次いだ三度の大火は、大館をして「犬の街」とともに「火事の街」として異名をとるに至らしめた。

だが、市民の努力と協力によつて、かつての被災地はもはや大火とは永遠の告別を遂げようとしている。そしてコンクリートの装いも新たな市街を開放し、全市をあげて復興を感謝し、祝い、明日えの発展に力強い巨歩をふみ切ろうと今や大館市復興祭の準備は着々とすすめられている。

八月九日から十日間、この大いなる慶祝の祭典もまた大館史上最初のものである。

各種の展示会や競技会、体育祭、芸能祭、諸会合ともり沢山な催しが躍進大館を舞台にくりひろげられる。そして、その一つ一つが明日の大館のより大きな力となり、繁栄への心の糧となることだろう。……

以下復興祭行事のあらましを見ることにしよう。

尚会場は出品物の量その他により一部変更されることがありますから予め御了承おき下さい。

★☆★☆★ 展示会関係 ☆★☆★☆

◆復興と産業展＝再三に亘る大火に思いを起し、大火から近代的都市として復興するまでの広い範囲の問題や過程を抽象し、或は再現して立体的に市民や観覧者に理解を与えようとするもの、この外大館市を繁栄に導くためのさまざまな課題に対し、わかりよく解明を与えるよう企画されている

会期中　桂城小学校

◆物産見本市と即売会＝大館市の物産はもとより、秋田、青森、山形三県内の物産を展示即売し、物産に対する認識と製作技術の向上と発達に寄与しようとするもの。

会期中　桂城小学校

◆電機と生活展

家庭の電化は文化生活には欠くことができない。またそれだけに数え切れないほどの有名、無名の電気機器が市場にあふれている。電気とその器具について正しい理解をもち生活をより明るくするためのさまざまな機器その他が東北電力の協力によって展示される。

会期中　桂城小学校

◆児童作品工夫展＝市内中小学校のマメ発明家達が、その生活の中から考究工夫された作品の展示や、絵画、手芸など苦心の作品が多数展示される。

会期中　桂城小学校

◆全国統計図表展＝全国および県が行った統計図表コンクールの入賞作品を展示して統計の表現技術と統計思想の普及向上を図ろうとするもの。作品は総理府統計局製作のもの一〇点、第五回全国統計図表コンクール入選作品二五点、第九回秋田県統計図表コンクール入賞作品二五点となっており統計図表展としては最高のものであり、殊に全国コンクール作品の展示は地方貸出の最初のものとなっている。

会期中　桂城小学校

◆生花展＝市内の花道家達の流派を競った力作が多数展示される。

会期中　桂城小学校

◆写真展＝風景に人物に、スナツプにポートレートに市内のマメラマン達による苦心の力作が多数展示される

会期中商工会議所ホール

◆農業資料展＝大館市農業のあらましを写真、図表、その他の資料をもつて解明するほか、作物標本、加工特産、農村電化などの営農上の貴重な資料が多数展示される。

会期中　城南小学校

◆酪農振興展＝大・中・小家畜の品評会を行うほか、ク[illegible]パ乳業等酪農関係機関から貸与を受けた多数の模形や酪農振興上の資料が展示される。

会期中　城南小学校

◆農器具展＝農業機械化教室を設け、農業機械化の現状各種農機具の性能試験成績などの資料を展示するほか新形農器具の展示、動力機械のセクションの陳列、および農機具相談所の開設、農器具の実演など多彩なものが予定されている。

会期中　城南小学校

★☆★☆★ 競技会関係 ☆★☆★☆

◆秋田県桶樽製作競技会＝県内の桶樽製造職人達が日頃の腕と技術を競う製作競技会

八月十六日第一中学校講堂

◆大館畳製作競技会＝市内の畳職が技を競う製作競技会

八月十五日第一中学校講堂

◆全県ライフル銃競技会＝岩手、秋田の両県対抗および秋田県ライフル選手権大会　参加人員秋田県二四名、岩手県九名。

八月十日　長根山射撃場

★☆★☆★ 体育関係 ☆★☆★☆

◆体育祭

八月九日桂体育館

◆第四回市民リレーカーニバル＝小中学校、高校、職場団体、一般など市民の各層からの対抗リレー祭。

八月十日、第一中学校グラウンド

◆秋田、青森、岩手選抜高校野球大会＝全国高校野球大会の各県決勝による準優勝チームによる対戦、出場選手九〇名。

八月十七日、市営球場

◆大館、鹿角対抗庭球大会＝恒例の対戦チーム、出場選手六〇名。

八月十七日　桂コート

◆第三回大館、北鹿綜合バレーボール大会＝大館、北秋鹿角一市二郡の中学校、高校、一般によるバレーボール大会。出場選手二五〇名

八月十七日　城南コート

◆第三回県北中学校対抗卓球大会＝県北中学校選抜チームによる。参加人員二五〇人。

八月十七日　一中講堂

◆県北中学校選抜バスケツト大会＝参加人員三〇〇名。

八月十六日、十七日桂高校体育館

◆県北二市三郡一般、高校、中学校剣道大会＝大館市、能代市、北秋、鹿角、山本の三郡による剣道大会、参加人員一三〇名。

八月十七日　鳳鳴体育館

◆北鹿二郡柔道大会＝大館市北秋鹿角の二郡、一般、高校による柔道大会、参加人員六〇名。

八月十五日　鳳鳴体育館

◆市内中小学校学芸会

中小学校児童生徒の豆劇家、舞踊家、音楽家達による学芸会で盛会が予想されている。

八月十二日、第一中学校講堂

★☆★☆★ 芸能関係 ☆★☆★☆

◆前夜祭オートパレード＝装飾をこらしたオートバイ、スクーターによる市内大行進。

八月八日

◆花火大会＝納涼と復興祭を祝しての大会で、二尺玉、尺玉、仕掛花火など打上げの数も延千発が予定され、集まる観衆も三万〜四万人と見込まれている。

八月十六日　長木川畔

◆民謡大会＝県内ばかりでなく青森、岩手、山形など一流の唄い手や踊り手を招いてくりひろげる唄と踊りの大会、舞台は固定せず要所要所に移動できるようなものが予定されている。

八月九〜十二日

◆全県盆踊コンクール

県内著名な盆踊チームによりその妙技を競う。参加十数チームが予定され絢爛豪華が予測されている。

八月十日　市営球場

◆市民盆踊大会＝老いも若きも、男も女も、皆んなが参加する賑かな盆踊大会

八月十七、十八日、場所大町か末広町予定

◆フオークダンス大会

軽快な音楽にのってリズミカルなフオークダンス大会

八月九日市役所前

◆美容マツリ＝麗人をモデルに市内の美容師達がヘヤースタイルや婚礼着付の技を競う美容マツリ

八月十七日　桂高校

◆秋田市竿燈＝秋田の名物竿燈を招致。

八月十六日

◆花輪ばやし＝郷土芸能で有名な花輪ばやし。

八月十五日

★☆★☆★ 諸会合関係 ☆★☆★☆

◆市制七周年記念式典　八月九日

◆秋田県市長会　八月十四日

◆秋田県八市議長会　八月十四日

◆秋田県八市財務協議会　八月十三日

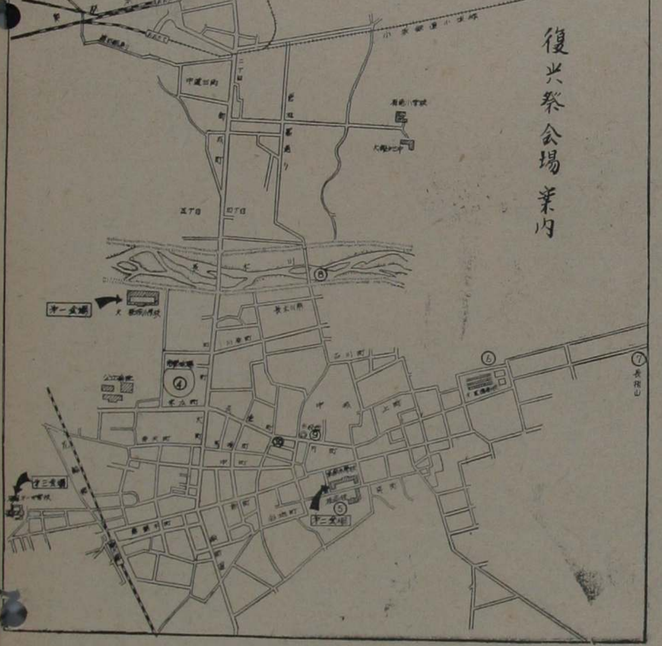
◆全県森林組合大会　八月十五日

◆全県青年幹部研究会　八月十五〜十七日

◆北海道東北ブロツク消防大会　八月十〜十一日

◆全県畜産大会　八月十日

◆秋田県商工会議所会頭会　八月十日



会場別行事一覧

◆第一会場(桂城小学校)

①復興と産業展(会期中)
②物産見本市と即売(同)
③東北各都市物産展(同)
④電気と生活展(同)
⑤児童作品工夫展(同)
⑥全国統計図表展(同)
⑦生花展(同)

◆第二会場(城南小学校)

①農業資料展(会期中)
②酪農振興展(同)
③農機具展(同)
④第三回大館北鹿綜合バレーボール大会(十七日)

◆第三会場(第一中学校)

①小中学校学芸会(十二日)
②大館畳製作競技会(十五日)
③秋田県桶樽製作競技会(十六日)
④第四回市民リレーカーニバル(十日)
⑤第三回県北中学校対抗卓球大会(十七日)

◆市営球場—案内図④—

①全県盆踊コンクール(十日)
②秋田、青森、岩手選抜高校野球大会(十七日)

◆桂高等学校—案内図⑤—

①体操祭(九日)
②県北中学校選抜バスケツト大会(十六、十七日)
③大館、鹿角対抗庭球大会(十七日)
④美容マツリ(十七日)

◆鳳鳴高等学校—案内図⑥—

①北鹿二郡柔道大会(十五日)
②県北二市三郡一般、高校中学校剣道大会(十七日)

◆長根山—案内図⑦—

①全県ライフル銃競技会(十日)

◆長木川畔—案内図⑧—

①花火(十六日)

◆市役所前—案内図⑨—

①フオークダンス大会(九日)

◆商工会議所—案内図⑩—

①写真展(会期中)

◆その他

①民謡大会(九日から十二日まで)移動舞台
②前夜祭オートパレード(八日)
③花輪ばやし(十五日)
④秋田市竿燈(十六日)
⑤市民盆踊大会(十七日、十八日)

世帯と人口(住民登録6月1日現在)世帯数10,603
人口 59,371
男 29,377　女 29,994

5月の人口動態と戸籍統計
出生 109　死亡 40　転入 150
転出 166　婚姻 113　離婚 14
養子縁組 12　養子離縁 5

大館市復興祭要綱

一、会場と会期
1会場＝主なる会場を桂城小学校、城南小学校、第一中学校とする。
2会期＝八月九日から八月十八日までの十日間

二、組織
会長＝佐藤敬治(市長)副会長＝渡部綱次(市議会議長)同緑川正雄(商工会議所会頭)運営委員＝野口弥之助外三十八名、参与＝佐藤猪太郎外二十七名、顧問＝秋田県知事外九名
復興祭事務局
局長＝小坂直司(助役)次長＝田畑文治(商工会議所専務理事)同石田純二郎(収入役)ほか部長、係長、係員をおいて本会の事務を処理する。

三、出品
本会の出品は即売品、売約品、非売品、参与品の四種とする。

四、観覧
会期中、毎日午前九時から午後四時まで。

五、経費
復興祭に要する経費は市費寄付金、観覧料、使用料、手数料、広告料をもつて充てる。

六、出品申込および陳列
出品申込は七月二十五日迄事務局へ行うこと。
出品物は八月五日迄会場に搬入すること。
陳列は八月六〜八日までに完了のこと。

七、陳列の場所及使用料
陳列場所は会場配置図に示すところによる。
出品物の陳列場所等の使用料は次のとおり。
1陳列台使用料は無料
2館外土地使用料は一坪につき五百〜三千円以内

八、陳列と装飾
出品物の陳列と装飾は出品者において行う。
尚特に本会に委託される場合は予め出品物陳列装飾委託書を提出しなければならない。

九、販売及び代金の精算
出品物は原則として委託販売とし、その売上げ価格の百分の五に相当する額を手数料として申受ける。販売代金は閉会後十五日以内に精算の上、出品者に支払をする。

十、撤去と搬出その他
出品者は会期中陳列場所の閉鎖および出品物の撤去或は搬出をしてはならない。
出品物の撤去および搬出は閉会後一日以内に完了する。
売約品は会期の最終日に買受者に引渡すこと。
売約の際はその売価の全額を領収し、買受者に売約証を交付する。

十一、会場内の売店
会場内の一般売店は認めない。

十二、入場料金
大人　二〇円
小人(中小学校児童生徒を含む)一〇円
右入場料金により各会場が観覧出来るように工夫されている。
入場料金の団体割引
1大人、三〇人以上二割引
〃　一〇〇人以上三割引
〃　二〇〇名以上　五割引
2教職員の引卒する児童生徒割引
◎三〇名以上小人料金の三割引
◎一〇〇名以上、同五割引
教職員は三〇名につき一名を引卒者として無料とする